

ひるば

平成29年3月発行

【編集・発行】
大分県公民館連合会
大分市府内町3-10-1
電話 097-506-5561

優良公民館紹介

第68回優良公民館(文部科学大臣表彰)

大分市大分南部公民館

大分南部公民館 館長 佐藤 文登

本館は、滝尾、植田東の2地区(大分南部地区)人口53,000人を所管エリアとして、平成4年10月に開館した。

南部地区は、敷戸団地や藤の台、片島台など多くの住宅団地が次々と造成され、大分市近郊の住宅地、商業地域として、近年目覚ましい発展を遂げてきた。一方で、滝尾小学校区や森岡小学校区には田園風景が広がり、大分大学のある旦の原地区の山林を源流とする鴛野川や一の瀬川、敷戸川、米良川等の複数の河川が流れるなど、豊かな自然環境が残存する地域でもある。しかしながら、都市化、商業地域化が進むにつれて河川の汚濁が進み、河川で遊ぶ子ども姿も見られなくなってきた。そうした中、河川などの自然環境の改善・保護を核とした公民館事業が進められることとなった。子どもに川あそびや生き物観察などの体験をさせ、ふるさとの自然に親しみ、それを大切にする心育をねらう「ふるさとの自然再発見教室」や「河川クリーンアップ大作戦」と銘打って行われる河川浄化活動、ホテルの幼虫放流などの体験学習が行われている。また、それらの学習の発表の場として、NPO法人「せせらぎの会」や小中学校、PTA、地域、大分大学などの協力のもと「NANBUせせらぎスクール」が毎年1月に盛大に開催されている。そこで発表する子どもたちの姿を見て、環境に対する思いを新たにす保護者や地域の人々の声も多く聞かれ、環境保全、愛護の啓発と意識高揚につながっている。

そのほか、子育て世代の父親と学校関係者、地域の住民が同席して子育ての悩みや課題について語り合う「おやじたちの夜なべ談義」も本館独自の事業として長く行われている。

今回の表彰を励みとし、地域性を生かした環境教育の推進や父親を巻き込んだ子育て環境の充実をさらに進め、学び、集い、つながる場として地域に愛され、親しまれる公民館活動の充実に一層努めていきたいと考えている。



日田市東有田公民館

日田市東有田公民館 館長 松尾 俊明

この度、文部科学大臣から、平成二十八年年度の優良公民館として表彰をいただきました。誠に光栄なことでありがたく思っています。

東有田公民館は、市内を流れる三隈川(筑後川)の支流・有田川に沿って開けた地区にあり、市中心部から約5キロメートルの距離にあります。しかしながら、人口は約一八〇〇人で、急速に進む少子高齢化の影響で高齢化率は三十九パーセントと高く、進む過疎化が地域の活力を失わせつつあります。

そうした中で、日田市の地区公民館は、公設民営化で各館がそれぞれ特色のある独自の事業を展開していますが、当公民館としても、本来の公民館活動は行いつつも、地域が元気になる新たな事業(地域活性化)にとり組むことが喫緊の課題となっています。

そこで、最初の事業として東有田地区にある難読山(一尺八寸山・月出山岳)を活用した「日本全国難読山名サミット」を企画しました。初年度は「由来板」や「展望台」等のハード面の整備、サミット開催年には夜なべ談義や記念講演、そして、三年次には記念登山等を開催し、地元を活性化し、市民の活力を引き出しました。また、地区住民の優れた技能を後世に伝える「東有田人財バンク登録事業」では、いろいろな分野の達人を審査・登録し、小学校や中学校及び老人会等で講演や講話を行い技術の伝承を行っています。

更に、先人の偉業と業績を掘り起こし、郷土の歴史と文化を正しく理解しようとする「郷土史調査研究講座」を開講し、その成果として「東有田地区ガイドマップ」を作成しました。また、市内にある地元の良い企業を訪問し、企業経営のあり方と地元貢献を学ぶ「ふるさと再発見事業」の開講、更に、外国人留学生のホームステイにより、互いの国の文化や宗教等について理解を深める「国際交流事業」を推進しています。そして、公民館が地域の社会教育の学びの場として理解してもらおうための「一口ゴマーク」の制定等、住民を巻き込んだ地域の活性化に取り組んでいます。

今後は、この表彰を励みに更に公民館活動に努力してまいりたいと思っています。



平成28年度 大分県公民館連合会

公民館関係職員研修会

公民館新任職員研修会

公民館長・主事研修会の様子



公民館関係職員研修会

期 日 平成28年5月24日(火)
会 場 大分県立社会教育総合センター
参加者 県内各地の公民館関係者
 (自治公民館を含む)
 及び社会教育関係者等 81名

内 容

○講演「チーム地域としての公民館」
 中央教育審議会審申(平成27年12月21日)より
 講 師 佐賀県上峰町
 副町長 松 井 佳奈江 氏

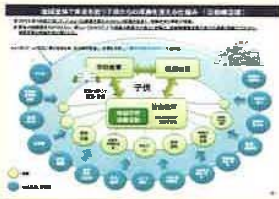
○説明「公民館の機能について」
 説明者 大分県教育庁社会教育課社会教育班
 主任社会教育主事兼主幹(総括)
 石 井 圭一郎
 講 師 別府大学文学部人間関係学科
 准教授 長 尾 秀 吉 氏

○講義「安全・安心を実現する地域の協働と公民館」
 講 師 別府大学文学部人間関係学科
 准教授 長 尾 秀 吉 氏

●参加者の声から
 ●講師の話がよかった。公民館にも是非来てほしい。
 ●4月から分館勤務が始まり、今回の研修はとても勉強になった。
 ●講師の話には具体的な事例が含まれており、わかりやすいものだった。

●まちづくりを社会教育から捉えるということと考えさせられました。
 ●これからの公民館運営の参考にしたいです。

●これからの公民館運営の参考にしたいです。



公民館新任職員研修会

期 日 平成28年6月27日(月)
会 場 大分県立社会教育総合センター
参加者 県内各地の公民館関係者
 (自治公民館を含む)
 (原則として任用後3年未満) 41名

内 容

○講演「公民館に関する基礎的知識について」
 説明者 大分県教育庁社会教育課主任社会教育主事
 宿 利 幸 伸

○講義・演習1・演習2・演習3
 「地域住民との人間関係づくり」
 講 師 玉川大学TAPセンター長
 難 波 克 己 氏

●参加者の声から
 ●新幹線を外から見ると、あつという間に終わった。楽しく有意義でした。
 ●ものごとの見方、とらえ方について、視点を交えることの大切さを学びました。仕事でもプライベートでも役に立つ内容でした。

●主体的で対話のある内容で、これまでにない学びがありました。
 ●チャレンジすることの大切さを知り、勇気をいただきました。

●主体的で対話のある内容で、これまでにない学びがありました。



公民館長・主事研修会

期 日 平成28年11月17日(木)
会 場 今津コミュニケーションセンター(中津市)
参加者 県内各地の公民館関係者
 (自治公民館を含む)
 及び社会教育関係者等 93名

内 容

○講演「地域力をつける学びを支える公民館活動とは」
 説明者 東京大学 大学院新領域創成科学研究科
 社会文化環境学専攻
 客員共同研究員 博士 岩 佐 礼 子 氏

○報告「今津コミュニケーションセンターの活動について」
 今津コミュニケーションセンター
 館長 金 丸 隆 氏

○事例発表
 発表①「べつべつ浜瀬業師祭りを通じた地域づくり」
 発表者 南部地区公民館
 館長 高 浦 嘉 昭 氏

発表②「子どもとふれあえる公民館活動」
 健康育成の視点から
 発表者 国東中央公民館(国東市)
 館長 岐 部 準 次 氏

○討議「地域の世代間交流に果たす公民館の役割とは」
 司会者 (今津コミュニケーションセンター) 館長
 金 丸 隆 氏
 岩 佐 礼 子 氏
 各事例発表者

●参加者の声から
 ●地域の向上のためには人間関係づくりが欠かせない。公民館における人間関係づくりはどうかあればよいかを学ぶことができた。
 ●公民館から情報発信し、収集することの大切さを学びました。
 ●現代社会において、公民館もそのあり方を変えていかなければならないと思った。今一度地域の良さを再発見するよう努力していきたいと考えました。
 ●地域力とは困難を乗り越える時の団結力なのだと気づかされました。

●地域の向上のためには人間関係づくりが欠かせない。公民館における人間関係づくりはどうかあればよいかを学ぶことができた。



第67回大分県公民館研究大会

日田大会

期 日：平成28年10月19日（水）
 会 場：日田市民文化会館
 （パトリア日田）
 日田市複合文化施設
 （アオーゼ）

「地域課題を解決するための学びを支援する公民館活動とは」をテーマに、日田市民文化会館（パトリア日田）をメイン会場として開催。県内から400名の公民館関係者の参加を得て成功裡に終了した。



全体会表彰

基調講演

演 題 「地域における世代間循環と公民館の役割」
 講 師 上野 景三 氏（佐賀大学文化教育学部教授）
 概 要 「公民館に求められる役割は何か？」

・公民館としての地域社会に対する理解と公民館運営計画
 ・不透明な社会に対して構想・計画を創り出すことである。
 ・公民館と地域社会の関係の見直し
 ・打ち出の小槌はない。公民館は人間の成長を支える基盤である。

・公民館と行政、行政の縮小と業務拡大
 ・規制緩和と市場化を超えて、中間組織の役割を持つ。
 ・社会教育・公民館クラスターの形成
 ・スタッフを内側、外側に抱えるのか？
 ・公民館と学校・校区
 ・世代間循環・交流の最後の砦として存続してほしい。



講演

分科会報告

第1分科会 「地域づくり」
 テーマ 地域課題に対応した公民館活動のあり方

【主な質問・回答】
 ・Q 地域課題を見つけて出す手立てはどうしたのか。どのように住民の声を拾い上げて事業に結び付けているのか。

A1 来館する住民との対話から見出す。挨拶からはじめてそこから話を聞き出している。



第1分科会

A2 関係の方々との対話が重要ではないだろうか。そこから地域課題の発見につながるのではないかと。
 Q 健康麻雀教室について教えてほしい。
 A 何か新しいことをやらないとこれから活動が縮小していくことが心配であったので、健康麻雀について視察先を調べ、具体的な活動を実践してきた。

【その他意見等】
 ・子どもが少なくなつて、公民館と学校との連携もできていない。そこがこれからの課題。子どもも活動なくして、公民館の活動は繁がっていかない。日出町はいろんな団体が連携できているので良いと思う。
 ・老人クラブと公民館がもっと連携する必要がある。
 ・青年層、壮年層の参加が少ないことについては、どの公民館においても意味共通する課題である。

第2分科会 「協育 ネットワーク（家庭教育支援）」
 テーマ 教育の協働と地域教育力の向上の核となる公民館のあり方

【主な質問・回答】
 ・Q 飯田カフェを始めた時のPTAの狙いは？どのくらいのメンバーがいるのでしょうか？みんなの反応はどうでしょうか？
 A オープンスタールにきてるだけではもったいないという思いがあった。一方、地域の人からは学校は敷居が高く行きにくいという思いもあった。公民館からも人が集まる場所に出向いて情報発信や収集ができるカフェのような場をつくりたいという思いがあったので多くの方にとって良い機会となった。



第2分科会

【その他意見等】
 ・ボランティアの確保が難しい。高齢の方に頼りがちである。
 ・ボランティアの方がいつも同じ人になってしまふ」という課題があるが、カフェという人が集う場があるので、そこで地域の人がその課題について考えるしかけづくりを今度は取り組んでほしいか。

第3分科会 「人権・同和教育の推進」
 テーマ 人権を尊重し、明るく社会づくりに向けた公民館のあり方

公民館は人をつなぐ重要な役割をもっていると改めて感じました。

【主な質問・回答】
 ・Q 各自治会館での人権学習の取組はどういったことをしているのか？周辺部の学習する機会の保障は？
 A 各地区自治会館で人権学習の部会で会合を持っている。各自治会館といかに連携を取っていくかが課題である。

自治会館では、人権教育推進委員会があり、人権講演会（年1回）・人権啓発センターでの報告・意見交換会（年1回）・視察研修（平成27年度：熊本県菊池・ハンセン病療養所）（平成28年：宇佐フィールドワーク）を行っている。

【その他意見等】
 ・養成講座を受けた人が職場で講師になっているのは成果だと思ふ。
 ・お年寄りが学習会に出席して良かったと思つて家に帰り、家族で共通の話題になっている。

第4分科会 「自治公民館活動」
 テーマ 豊かな地域づくりを担う自治公民館活動のあり方

【主な質問・回答】
 ・Q 吹上町自治会の自主防災について説明をお願いします。
 A 自主防災については、24年7月の水害体験を踏まえ、これまでの単なる連絡網による避難体制を改め、370世帯を5ブロック（70世帯）に分け新たな自主防災組織体制をつくった。町内の要援護者55名の健康状態について、民生委員及び福祉委員と情報共有し、災害時の要援護者の避難を昼間家にいる隣人に依頼している。また、誰が避難させるかは班長が把握している。なお、年1回の防災訓練では、要援護者が実際に依頼を受けた者が一緒に避難している。



第4分科会

【主な意見等】
 ・つばやきや求めていることなど情報収集しやすいと感じた。
 ・地域福祉、防災など多面的に関わることの大切さを確認できた。これからも地域の分析をして、地域の向上のために必要なことをやってほしいと思ふ。



第3分科会

第67回九州地区公民館研究大会（宮崎大会）に参加して



九重町社会教育課

野上公民館 衛藤 潔範

などで取組の報告や意見交換が行われた。私の参加した分科会は「人権を尊重し、明るい社会づくりに向けた公民館活動の在り方」をテーマに、福岡県の北公民館では外国人に、宮崎県の上東自治公民館では高齢者に関する取組の報告が行われた。どちらも、外国人・高齢者の孤立防止を図るという点と、公民館が地域の人達の「つながり」を生む場となっていることがわかるものであった。また、意見交換では参加者それぞれの公民館での課題や取組について、活発に意見交換が行われた。いろんな方の話を聞く中で、これからの公民館は、

- 一、誰もが立ち寄ってみたいなる魅力ある公民館
- 二、人づくり・地域づくりに貢献できるリーダーが育つ公民館
- 三、地域の絆をつくる公民館を目指した取組を推進することが

重要と感じた。



平成28年8月25日（木）・26日（金）に宮崎市で開催された「第67回九州地区公民館研究大会宮崎大会」に参加した。

2日間の大会には、普段から公民館運営などに携わる関係者が一堂に会し、分科会



平成28年8月25日（木）・8月26日（金）に宮崎市で開催された九州地区公民館研究大会に参加した。個人的にも九州地区大会の参加は十数年ぶりであり、大変楽しみにしていた。

参加した分科会は、第1分科会「地域づくり」。私の住む佐伯市は、平成17年に9市町村で広域合併しており、行政サービスの低下や人口減少等の問題が懸念される中、地域における「公民館」の役割がより大きく求められていると感じている。

事例発表は豊後高田市田染公民館の吉田館長による「地域の拠点としての、公民館活動」と宮崎県東諸郡綾町上畑自治公民館の小西館長による「『ふれあい調査』に基づく地域づくり」であった。それぞれの公民館も、地域づくりのための組織のあり方、また活動内容に特徴があり非常に参考になった。また、それぞれ異なる特徴の地域づくりを実践している2公民館において、その中心となる館長への想いの深さが共通していることを強く感じ、地域づくりには、核となる公民館職員の熱い想い（意識の高揚）が必要不可欠であるとも感じた。

余談だが、11月に中津市今津公民館コミュニティセンターで開催された大分県公民館長・主事研修会のつながりで、岩佐礼子先生を招いて綾町の地域づくりにおける組織のあり方、ふれあいマップづくりについて、当市の青山地区公民館において、地域住民を対象に講演会を開催した。地域の方々も非常に関心を持たれ、有意義な講演会となったことを報告する。



佐伯市教育委員会社会教育課

社会教育主事 戸高 直人

別府地区公民館連合会

「近隣の助け合いをはぐくむ
公民館活動への挑戦」

影の木区は、豊岡小学校の北側に位置し、自治公民館は持っていないため、区と隣接した豊岡地区公民館を主に活動場所としている。

住民の年代別・性別にみた公民館活動との関わりを分析したところ、これまでの、全体での活動については、身体を動かす活動や行事が中心であり、特に80代の男女と50代から70代の女性の参加が少ないことがわかった。

自治公民館は地域づくりの拠点であり、全住民の健康・交流の推進を図るところであるため、活動に参加できていない層をターゲットに新規の取組を起こすことを考えることにした。



平成29年度 影の木自治公民館実践発表会

身体を動かすことが

苦手な人でも参加できる行事として、近所づきあいの復活、健康のための情報交換の場として活用できる月1回のサロンの実施に至り、町内の社会福祉法人の支援を受けながら、「認知症予防」「薬と健康」「感染症予防」「介護サービス施設見学」など身近な情報提供を行っていった。



回をすすめるにつれ、人数が増えるとともに、最初のあいさつが「おはようございます。」から「皆さま、お元気でしたか。」に変わっていき、終了後のアンケート結果での満足度も高く、来年度も引き続き実施していくこととなった。

今回のサロンの実施を通じて、学習はもとより、集っておしゃべりするといったふれあいの原点到回帰することができたことは、今後の地域活性化につながると感じている。

日出町影の木自治公民館

館長 森本 毅

大分地区公民館連合会

「大分地区合同研修会」

大分地区公民館連合会は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市の公民館相互の連絡連携を図り、公民館活動の振興発展に寄与する目的で組織している。

その中の自主事業として、年2回の合同研修会を実施している。この研修会は公民館相互の情報交換や研修、職員の資質の向上を目的としている。

第1回目は平成28年4月5日の総会後に「いろいろな人権問題について」と題して講演会を実施し、六曜や丙午など身近に感じる問題や部落差別について学習を行った。その後の懇親会では各市での活動状況などの情報交換も実施した。

第2回目は平成29年2月10日に3つのテーマに沿って各市から取組事例の発表と、情報交換を行った。

① 社会人権教育については、臼杵市から「臼杵市における公民館を起点とした学習・啓発活動について」と題して、公民館を活用した人権教育活動について、取組事例の発表があり、情報交換を行った。

② 青少年教育については、大分市から「子どもの体験活動を地域一体で支援する取組」と題して、政所公民館と大在公民館を利用しての都市

型通学合宿体験の事業内容や参加した子の様子などの発表があり、子どもの体験学習についての意見交換が行われた。

③ 高齢者・家庭教育については、由布市から「由布市における家庭教育推進事業について」と題して、家庭教育支援活動についての事例の発表があり、情報交換を行った。

毎年この合同研修会は、各市が輪番で活動状況を発表し、各公民館の活動の参考にすることを大変有意義な研修会と位置づけている。

大分地区公民館連合会では次年度以降も研修会を重ね、より良い公民館活動を実践していきたいと考えている。



わがまち公民館



日田市五和公民館

日田市五和公民館
館長 山口 準一郎

日田市では小学校区ごとに配置されている地区公民館を（一財）日田市公民館運営事業団が指定管理者として運営しており、地域住民による地域性に応じた公民館運営が行われている。特に、地域の自主活動グループからは、公民館事業に多大な支援をいただき、今や公民館にはなくてはならない存在になっている。

日田市の五和地区で活動する自主活動グループ「20：如月会」は、公民館事業への支援活動はもちろん、地域行事など様々な場面で活躍する。

特に、五和公民館の主催事業「五和チャレンジスクール」（児童対象）では、地域の特性を活かした生活体験や自然体験活動を行う中で、20：如月会が食育学習や調理指導を担当するなど、事業の確立に関わっていただいている。また、学校支援も積極的に行い、活動の幅を広げている。

このように活動は、他地域でも公民館を中心に活発に行われている。しかし、その反面、グループ内では課題もあり、活動のマンネリ化や新規会員が無いことに将来的な不安を感じるなど悩みを抱えている。



今後の課題としては、この研修会の成果を活かすため、公民館と地域グループがより一層の連携を図り、研修で学んだことを活かせる継続的な取組を行うことが望まれる。

ら、公民館を中心に活動する女性グループ4団体の合同研修会を企画。2回講座として、ワークショップ及び講演会を実施した。

ワークショップでは「グループの課題」をテーマに意見交換や課題解決協議を行い、講演会では地域づくりで全国的に有名な講師をお招きし、その手腕と手法を学んだ。

2回の研修会を通じて成果として、①違うグループ・地域の方と交流を持てたこと、②課題に対していろんな方法を考えることができたこと、③そして何れもそれぞれグループが互いに刺激され、やる気が上がったことが、各グループの共通意見として見られた。

豊後高田市呉崎公民館

中津地区公民館連絡協議会会長
豊後高田市呉崎公民館
館長 伊東 泰三

呉崎地区は国東半島の北側の入り口に位置し、由布ヶ丘を中心とした農業主体の地域である。

江戸時代末期に遠浅の海を干拓してきた土地であるため、当時は作物も不作続きで先祖は苦労の連続だったようだ。

今では、外国人を雇用する大規模農家も増え、朝早くから夜遅くまで頑張っている。

当公民館は、昭和五十四年十月九日に落成し今日に至っている。活動内容は、公民館主催事業、共催事業、自主事業と大きく分けて3つに分類される。他に学びの二十一世紀塾（小学生対象）の「わくわく体験活動」がある。

今回は、主催事業の「100歳まで健康予防教室」について紹介する。地区の専門病院や介護施設に協力頂き、公民館で年間計画を企画立案し、月一回のペースで実施している。



講師を募集し毎年五月から開始、今年度は13名がスタートした。

教室の前半は、脳の働きを活性化させるための「音読」、「トランプ遊び」、「なぞなぞ&とんちクイズ」、「脳年齢チェックテスト」、「早口ことわざパズル」、「川柳・ドリル」、「春の七草を覚える」、「秋の七草を覚える」、「計算問題」、「ナンプレ」、「書き取り」、「読み取り」、「詩の朗読」等々を実施。

受講生の感想として、「問題が解けると非常にうれしい！また、挑戦しようという気持ちが湧いてくる」、「事前回きな感想が多かった」。

また、先日、市のケーブルテレビの取材がありインタビューを三名ほど受けて満足そうであった。

後半は、身体を使った脳下運動「ウォーキング」・「メジロリズム」・「体を使った脳トレリミター使用」・「スリッチ」等を実施し受講者それぞれに対する理解を深め脳力しつめた地域づくりを広げて行こうと計画した。

来年度は、受講生をもう少し増やし、日先を交え、考えて作る料理や菓子づくりなどを折ひ込んでみたいと考えている。

地域力を高める公民館活性化モデル事業の取組

「公民館コミュニティ活性化事業」

平成28年11月23日(水)

「体験活動ワークショップ」

佐伯市東地区の大人と子ども約200名が東地区公民館で芸術を楽しむ講座(ピアノ演奏講師、戸室直子氏・吉野由美氏の2名を招聘し、ワークショップを開く)を楽しんだ。



「地域の絆育成事業」

平成29年1月30日(月)

「ワークショップ」

平成29年2月

「講演会」

日田市内の女性グループ(3、4グループ)約100名が、日田市複合文化施設アオーゼにて、今後の活動の在り方や新たな役割、課題の解決法について、地域活性化の支援に実績のある講師(斎藤主税氏・若松進一氏)から、講演やワークショップを通して学びを深めた。



「地域の祭りの活性化事業」

平成28年12月3日(土)・4日(日)

「川崎地区ふるさと講演会」

日出町川崎地区の住民(大人から幼児までが対象)1500名が地域出身の文化人の講話を開き、地域のこれからのあり方や人との結びつきについて学習を深めた。



「地域の絆育成事業」

平成29年1月12日(木)

「耶馬溪地域生涯学習推進・公民館振興大会」

耶馬溪地域の公民館関係者、社会教育関係団体、社会福祉関係者等約100名が、耶馬溪公民館にて、公民館に求められる「共助社会」への役割と機能、社会福祉との連携協働について、実践発表と講演を通して学習を深めた。



平成29年度 第39回全国公民館研究集会 第68回九州地区公民館研究大会 大分大会 第68回大分県公民館研究大会

【概要】開催について

1. 大会テーマ
「地域に求められる学びをつくる公民館活動」～『自ら考え、行動する住民』を支援する公民館とは～
2. 主催
公益社団法人全国公民館連合会、九州公民館連合会、大分県公民館連合会、大分県教育委員会、大分市教育委員会、大分大会実行委員会
3. 期日
平成29年8月24日(木)～25日(金)
4. 会場
(分科会) ホルトホール大分(小ホール、大会議室、201・202会議室)
コンパルホール(文化ホール、多目的ホール)
Iichiko音の泉ホール 明日香美容文化専門学校 県民ギャラリー
(全体会) iichikoグランシアタ
5. 大会日程

	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	
23日(前日)																九公連会長会	九公連理事会	分科会打合せ				レセプション	
												大分オアシスタワーホテル											
24日(1日目)				会場設営			リハーサル			受付			分科会										
												ホルトホール大分ほか											
25日(2日目)			受付	アトラクション	開会行事			記念講演	閉会行事														
												iichikoグランシアタ											

お知らせ

表彰表

大分県公民館連合会表彰

- 【優良公民館】
 - 日田市東有田公民館
 - 【優良自治公民館】
 - 大分市川添校区公民館
 - 【公民館運営審議会功労者】
 - 大分市明治明野公民館
 - 公民館運営審議会委員
 - 安部 哲雄 氏
 - 大分市佐賀岡公民館
 - 公民館運営審議会副委員長
 - 藤澤 治子 氏
 - 大分市鶴崎公民館
 - 公民館運営審議会副委員長
 - 佐々木博三 氏
 - 日田市光岡公民館
 - 公民館運営委員長
 - 吉田 龍介 氏
 - 日田市三芳公民館
 - 公民館運営委員長
 - 小野 忠士 氏
 - 【公民館優良職員】
 - 大分市長浜校区公民館
 - 公民館主事
 - 清山 直子 氏
 - 館長
 - 三重野幸博 氏
 - 大分市小佐井校区公民館
 - 館長
 - 藤川五十五 氏
 - 館長
 - 植木 一郎 氏
 - 日田市威宜公民館
 - 館長
 - 武内 正英 氏
 - 【公立公民館報の部】
 - ◆優秀賞
 - 日田市高瀬公民館
 - 【広報 たかせ】
 - 大分市野津原公民館
 - 【まなびイ】

別府市南部地区公民館
 「南部地区公民館報さわやか」
 竹田市中央公民館 宮城分館
 「分館だより」
 竹田市都野公民館
 「都野公民館だより」

◆優良賞
 【自治公民館報の部】
 大分市福田校区公民館
 「公民館だより」
 別府市鶴見公民館
 「鶴見町自治会公民館だより」
 別府市中須賀元町公民館
 「中須賀元町だより」

◆優良賞
 別府市関の江新町公民館
 「せきのえしんまち」
 別府市青山町公民館
 「青山町広報」

【公益社団法人全国公民館連合会表彰】
 大分南部公民館 公民館主事
 河野 美雪 氏

平成29年度 事業の予定
諸会議
 会計監査
 期日：4月11日(火) 場所：大分市(県庁舎)
 内容：28年度会計監査
 第1回理事会
 期日：5月15日(月)
 場所：大分市(いちご総合文化センター)
 (議事)・28年度事業報告、29年度事業計画等について
 ・29年度会費について、役員改選について
 ・当面する事業等について

第68回九州地区公民館研究大会
第1回実行委員会
 期日：5月15日(月)
 場所：大分市(いちご総合文化センター)
 内容：大会委員、収支予算、役割分担等の協議
総会
 期日：5月26日(金)
 場所：別府市(別府中央公民館)

(議事)・28年度事業報告、29年度事業計画等について
 ・29年度会費について
 ・当面する事業等について

期日：5月15日(月)
 場所：大分市(いちご総合文化センター)
 内容：大会委員、収支予算、役割分担等の協議
総会
 期日：5月26日(金)
 場所：別府市(別府中央公民館)

(議事)・28年度事業報告、29年度事業計画等について
 ・29年度会費について
 ・役員改選について
 ・当面する事業等について

第68回九州地区公民館研究大会
第2回実行委員会
 期日：7月14日(金)
 場所：大分市(ホルトホール)
 内容：大会準備進捗状況の説明
 役割分担ごとの打合せ

第68回九州地区公民館研究大会
第3回実行委員会
 期日：8月18日(金)
 場所：大分市(いちご総合文化センター)
 内容：大会準備進捗状況の説明
 最終打合せ

第2回理事会
 期日：8月18日(金)
 場所：大分市(いちご総合文化センター)
 (議事)・第68回九州地区公民館研究大会(大分大会)について

各地区公連・連絡協議会会議
 期日：随時 場所：県内5箇所
 内容：県内5地区で実施
各地区公連・連絡協議会研修会
 期日：随時 場所：県内5箇所
 内容：県内5地区で開催
各公民館訪問
 期日：随時 場所：県内随時

研修
公民館関係職員研修会
 期日：5月26日(金)※総会終了後開催
 場所：別府市(別府中央公民館)
 内容：講演・説明・講義・参加者：80名程度
大分県公民館新任職員研修会
 期日：10月下旬 場所：大分市
 内容：説明・講義・演習・参加者：50名程度
大分県公民館長・主事研修会
 期日：11月下旬 場所：別府市
 内容：講演・報告・事例発表
 参加者：80名程度

表彰
優良公民館・優良職員広報誌コンクール
 期日：8月26日(金) 場所：大分市
 内容：第68回九州地区公民館研究大会大分大会
 第68回大分県公民館研究大会にて表彰

情報提供
機関誌「ひろば」発行
 期日：30年3月下旬
 年一回発行(第32号)
ホームページによる情報収集・提供
 大分県公民館連合会ホームページの更新

九州公民館連合会関係
九公連第1回会長会
 期日：4月20日(水) 場所：大分市
 (議事)・会長選出について
九公連第1回理事会
 期日：4月20日(水) 場所：大分市
 (議事)・事業報告、事業計画、役員表彰等について

九公連第2回会長会
 期日：8月23日(火) 場所：大分市
 (議事)・全国公民館連合会理事報告、情報交換
九公連第2回理事会
 期日：8月23日(火) 場所：大分市
 (議事)・第68回九州地区公民館研究大会(大分大会)について

第39回全国公民館研究集会
第68回九州地区公民館研究大会
第68回大分県公民館研究大会
 期日：8月24日(水)～25日(金) 場所：大分市
 大会テーマ
 「地域に求められる学びをつくる公民館活動」
 「1日5考え、行動する住民」を支援する公民館とは、
 県参加者：900名以上

九公連事務担当者会
 期日：1月中旬 場所：那覇市
 (議事)・29年度事業・決算報告について
 ・30年度事業計画・収支予算案について

全国公民館連合会関係
全国公民館連合会表彰
 期日：8月25日(金) 場所：大分市
 内容：優良公民館、優良職員表彰、永年勤続職員表彰等
全公連定時総会
 期日：6月 場所：東京都
 (議事)・28年度事業報告・収支決算について
 ・29年度事業計画・収支予算案について

第29回公民館全国セミナー
 期日：1月中旬 場所：東京都
 研究テーマ「未だ」
 ※本県公連から1名を推薦

大分県公民館連合会では、ホームページを開設し、随時更新しています。
 各公民館活動の様子や公民館報などの情報を、事務局までお気軽にお寄せください。